

## 会 議 録（要 旨）

会 議 名	平成23年度 第2回武蔵村山市公民館運営審議会
開 催 日 時	平成23年8月31日（水） 午後2時から午後3時30分
開 催 場 所	中部地区会館 402学習室
出 席 者 及 び 欠 席 者	出席者：荻野委員長、福田副委員長、齋藤（実）委員、高橋委員、本村委員、鴻田委員、齋藤（イ）委員、林委員 事務局：生涯学習スポーツ担当部長、生涯学習グループ主査・主事 欠席者：嶺岡委員、安田委員
議 題	1. 平成23年度公民館講座について
結 論 (決定した方針、残された問題点、保留事項等を記載する。)	議題1について： 審議経過のとおり。
審 議 経 過 (主な意見等を原則として発言順に記載し、同一内容は一つにまとめる。)	<p><b>報告事項1 第1回武蔵村山市公民館運営審議会会議録について</b> 報告事項1について、事務局より会議資料に沿って説明。 質問等特になし。</p> <p><b>報告事項2 平成23年度公民館講座進捗状況について</b> 報告事項2について、事務局より会議資料に沿って説明。</p> <p>(委員) 報告事項2の(4)と(5)について定員はどう考えているのか。 (事務局) (4)については50名を予定しており前年度が30名程度の参加だったので超えることはないように設定している。(5)に関してはさくらホールの会議室を考えているので、講師とも相談のうえ20名程度を予定している。</p> <p>(委員) (4)について受付方法が往復はがきとなっているが持参ではいけないのか。 (事務局) 往復はがきで設定している理由として、決定通知を送るためなので往復はがきで提出した人と持参の人で不公平が生まれてしまうので原則として往復はがきのみで受付とする。</p> <p>(委員) 講座に委員は参加しているのか。受講生としてではなく、公民館運営審議会の委員として見学をして会議に役立てたい。 (事務局) ぜひ参加していただきたい。</p> <p>(委員) 受付方法が往復はがきである場合と電話、ファックス等である場合の基準はあるのか。 (事務局) 多くの申し込みが予想される場合は往復はがきであり、先着の場合は電話等を設定している。 先着の場合には窓口を一つに設定しなければいけないなどの問題もある。</p> <p>(委員) 市民企画講座の講座内容に関してだが、環境標語を取り入れた方がよいのではないのか。 (委員) リーダー研修会についての質問。前年度17名の参加があったようだが、今年度人数が大幅に減った理由はなにかあるのだろう</p>

うか。講座の内容等に問題があるのか意識の問題か意見を求める。

(事務局) 今年度の応募に関して、友達同士での応募であったため、一人が辞退すると同時に数人やめていってしまうというものであった。現在の中学生は部活動にも参加しているので、部活動との両立は難しい。

### 議題1 平成24年度公民館講座について

議題1について事務局より会議資料に沿って説明。

(委員) 市民企画講座のテーマについて郷土芸能をあげてみてはどうか。

(委員) 市民講座の中の一つで市民企画講座を取るのではなく、別の枠で市民企画講座をとることがいいのではないかな。

(委員) 映画会も市民企画講座のほうがよいのではないかな。市民が協力して行うことが良いと思う。

(委員長) 親子で何かをつくる観点から木工以外にはなにかないかな。

(委員) 陶芸釜は公民館事業で使えるのかな。

(事務局) 現在は市民総合センターと残堀・伊奈平地区会館にある。市民総合センターに2台と残堀・伊奈平地区会館に1台ある。しかし、陶芸釜の使用は年間で予定を組むので来年度陶芸講座を組むのであれば早めに決めなければいけない。

(委員) 陶芸をすると心が豊かになるのが良い。

(委員) 市民講座になるかと思うが、手話講座はいかがかな。また、認知症関連の講座も良いと思う。高齢になるにつれて自分なりにやる病気の勉強も必要かなと思う。  
家庭教育講座だと親子でリズムを奏でる講座はどうであろうかな。

(委員) 認知症の講座内容は予防についてが最適ではないかな。

(事務局) 高齢福祉課で認知症サポーター養成講座というものもやっているのでもそちらとも連携を取りながらやっていきたい。

(委員) 現在、小中学校でも認知症サポーター養成講座を実施してもらっていますが、予防の観点からするとまだ医学的に研究段階なので難しいのではないかな。

(委員) 福祉の関連でいくつか意見がでたが、高齢者社会の現代なのでそちらの分野にも力を入れた方がいいと思う。

(委員) 郷土芸能の話が出たが、こちらは鑑賞をメインにするものなのか、触れてみるものなのか意見を求める。

(委員) 郷土芸能を知っている人を増やしたいので、鑑賞をメインで考えている。

(委員) 現在、第三中学校でふれあいフェスティバルというのもやっている。内容としては竹とんぼ、紙飛行機、うどん作り、和服の着付け等である。そのようなときに講師の方が来てくださっているのでも市内に教えられる人がいる。このことから、和服の着付け等の講座も組めるのではないかなと思う。現代は和服を着ることが出来る人も少ないのではないかな。ベテランの方からすると気にならない点でも学校側の意見としてはこのようなニーズもある。

### 議題2 その他について

質問等特になし。

